

出資先候補に対する審査の観点について

出資先候補の審査にあたっては、出資要件を満たしているかを確認するとともに、以下の各項目について提案内容を総合的に評価するものとします。

1. 提案者に係る観点

- ①過去の組合運営実績（投資対象、IRR、投資倍率）、中小企業への投資実績、ハンズオン支援実績、エグジット実績（組織としての実績がない場合は投資担当者個人のもの）
- ②経営基盤の安定性（財務状況、組織体制、経営者・役員の経歴）
- ③ディールソース、ソーシング力
- ④各種専門家やアドバイザー、関連業界・企業等とのネットワーク
- ⑤中小企業に対する投資業務への理解、ノウハウ、専門知識

2. 提案内容に係る観点

- ①政策的意義（組合の目的と政策目的の整合、中小企業支援としての意義、機構が出資する目的への理解）
- ②組合の運営方針（規模・存続期間、投資対象（投資分野）・投資基準・投資方法、想定IRR・回収方法・管理報酬・成功報酬（ハードルレートの有無））
- ③他の組合員の構成、出資額及び出資確度
- ④組合の運営体制（投資チームの構成、投資担当者数、投資決定プロセス（発掘・投資委員会の構成・議決方法等）、管理体制、投資回収プロセス、コンプライアンス確保、反社チェックの体制、秘密保持）
- ⑤投資担当者の投資実績、ハンズオン支援実績、エグジット実績（特に、提案組合が投資対象とする業種・成長段階等に対する実績）
- ⑥投資候補先の内容（質・量、ソーシング元等）
- ⑦利益相反への対応（同種類似の事業、並行投資、組合関係者と投資先との取引等）